



2026年度

(2027年3月期)

第1四半期

決算報告

NSユナイテッド海運株式会社

2026年7月31日

目次

1. 第1四半期決算の概要	 p.2-3
2. 2026年度業績見通し	 p.4-5
3. 活動状況	 p.6-7
(ご参考) 財務アウトルック	 p.8

1.第 1 四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2025年度							2026年度	前年度 同期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	
売上高	548	567	1,115	597	585	1,183	2,298	673	+ 125
営業利益	37	55	92	58	54	113	205	73	+ 36
外航部門	29	44	72	43	40	83	155	69	+ 40
内航部門	9	12	21	15	14	29	50	4	▲ 5
経常利益	29	56	85	62	64	126	210	72	+ 43
親会社株主に帰属する 四半期純利益	60	51	110	71	59	130	241	61	+ 2
為替 (円/US\$)	¥145.67	¥147.33	¥146.50	¥152.00	¥156.33	¥154.17	¥150.33	¥159.33	+¥13.66
燃料油価格※1 (US\$/MT)	\$553	\$499	\$526	\$434	\$447	\$441	\$481	\$655	+\$102
市況 ケープサイズ※2	\$18,681	\$24,684	\$21,778	\$28,875	\$22,902	\$25,840	\$23,793	\$36,303	+ \$17,622
パナマックス	\$11,849	\$15,929	\$13,953	\$16,030	\$15,395	\$15,707	\$14,823	\$19,234	+ \$7,385
ハンディ	\$10,592	\$13,025	\$11,847	\$14,989	\$12,411	\$13,679	\$12,756	\$14,969	+ \$4,377

※1 燃料油価格は全油種平均価格

※2 ケープサイズは180型船型

1. 第1四半期決算の概要

外航海運

● 大型船市況はブラジル積み鉄鉱石、西アフリカ積みボーキサイトが堅調に推移したことに加え、昨年からスタートしたギニア・シマンドゥ鉄鉱石の出荷拡大で輸送距離が伸長。船腹需給の引き締めにつながるとの期待から市況は上昇した。フリー船収益は拡大、専航船も燃料費の増加を運賃収入でカバーし安定収益を確保。

● 中小型船市況はホルムズ海峡の通峡が事実上制限される中、価格が高騰する原油・天然ガスに代わるエネルギーとして石炭輸送需要が増加、穀物輸送需要も堅調で市況上昇に寄与。

● ドル円相場は前年度からの円安トレンドが継続しており、上値として意識されていた160円ラインを突破。中長期契約の採算向上に努めたことに加え、為替、市況が収益を押し上げ前年同期比で増収増益。

内航海運

● 鋼材輸送、バイオマス輸送量は底堅く推移したものの、建築需要の頭打ち傾向からセメント関連貨物は輸送量減、火力発電所の稼働低下により電力関連貨物輸送も低調で全体として輸送量減。

● 燃料費の上昇を一部運賃に転嫁することで増収となるも、トータルでは燃料費増をカバーするには至らず減益。

ケープサイズ（18万トン船型）日建て用船料主要5航路平均推移（2025年4月～）



2.2026年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2026年度 (今回予想)					前年度比		前回4月予想比	
	1Q (実績)	2Q (予想)	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)	前年度通期 (実績)	増減額	通期 (予想)	増減額
売上高	673	607	1,280	1,140	2,420	2,298	+ 122	2,300	+ 120
営業利益	73	71	144	121	265	205	+ 60	231	+ 34
外航部門	69	62	131	95	226	155	+ 71	188	+ 38
内航部門	4	9	13	26	39	50	▲ 12	43	▲ 4
経常利益	72	72	144	109	253	210	+ 43	219	+ 34
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	63	124	126	250	241	+ 9	231	+ 19
為替 (円/US\$) ※1	¥159.33	¥161.00	¥160.17	¥155.00	¥157.59	¥150.33	+ ¥7.25	¥152.50	+ ¥5.08
燃料油価格 (US\$/MT) ※2	\$655	\$565	\$610	\$630	\$620	\$481	+ \$139	\$584	+ \$36
市況 ケープサイズ ※3	\$36,303	\$33,000	\$34,652	\$29,000	\$31,826	\$23,793	+ \$8,033	\$27,000	+ \$4,826
パナマックス	\$19,234	\$21,000	\$20,117	\$18,000	\$19,059	\$14,823	+ \$4,236	\$16,000	+ \$3,059
ハンディ	\$14,969	\$16,000	\$15,485	\$14,000	\$14,742	\$12,756	+ \$1,986	\$12,500	+ \$2,242

※1 為替は1円の円安で約3億円の経常増益 (2Q-4Q)

※2 燃料油価格は全油種平均価格

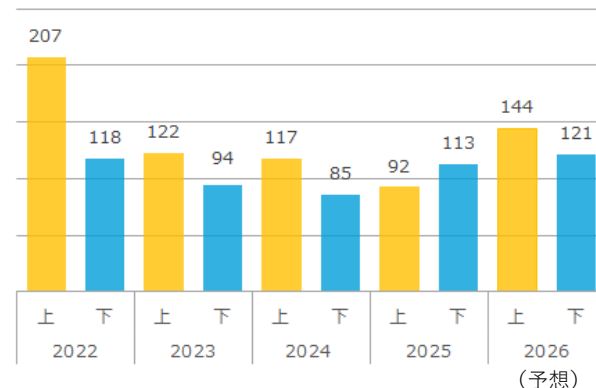
※3 ケープサイズは180型船型

2.2026年度業績見通し

上期業績の見通し：上期営業利益は過去最高益となる2022年度に次ぐ144億円を見込む

- 大型船市況の変動幅は大きいものの高値圏を維持しており、引き続きブラジル積みやギニア積みの鉄鉱石、ボーキサイトが牽引する形で底堅く推移すると期待される。
- 為替は中東情勢などの地政学的リスクや政策的な為替介入による変動に注意を要するものの、第2四半期（7－9月）の期中前提は161円とする。
- 安定収益基盤となる外航部門の専航船運賃は燃料単価とほぼ連動しており、単価上昇の影響は限定的。上期営業利益は前年同期比52億円増となる144億円を見込み、上期営業利益としては過去最高益2022年度に次ぐ水準。

半期毎営業利益（単位：億円）



通期業績の見通し：年明け以降は季節的要因により市況下落が見込まれるも、増収増益を予想

- 海運市況は年明けに季節的な要因で一時的に弱含む局面が予想されるが、下期を通じては前年度を上回る水準を想定。
- 中小型船の新造船発注残がやや伸びているものの、石炭、穀物トレードの増加、輸送距離の伸長が下支えとなり、堅調な推移を見込む。
- 下期為替は155円と足元より円高水準を前提とする。2026年度連結営業利益は、下期121億円、通期265億円を予想。また、従前より計画していた老齢船の売却により連結当期純利益は通期250億円を予想、各段階利益で上方修正を見込む。

中期経営計画目標 (2024年度～2027年度)

営業利益	200億円
ROE	10.0%
Net DER	1.0倍以下

配当予想

本日付けで「2027年3月期の配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」を別途開示していますので、併せてご覧ください。

3.活動状況

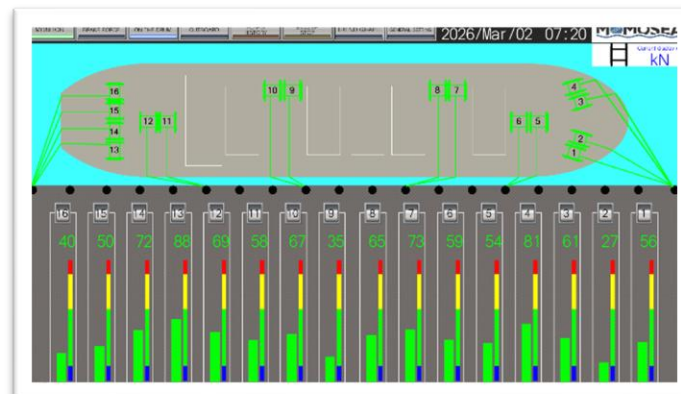
係船索張力監視装置「MOMOSEA」の共同実証開始

当社は川崎重工業株式会社とともに、係船索の張力を遠隔で監視可能な装置「MOMOSEA」を運航船に搭載し、2026年4月より共同実証を開始しております。係船索の張力変動を可視化することで、安全性の向上および船員の巡回作業負荷の軽減を図っております。

特に潮流等により張力変動の大きい豪州港湾において実証実験を行い、従来は経験に依存していた係船管理のデータ化・高度化を推進し、外航船での実用化を目指しております。



ブリッジから監視可能



係船索張力の計測データの可視化

LNGバンカリング船「SETO AZURE」の運用開始

当社グループ会社のNSユナイテッドタンカー株式会社が管理・運航するLNGバンカリング船「SETO AZURE（セト アズール）」は、2026年4月に竣工し、同月に初となるLNG燃料供給を実施いたしました。

本船は大阪湾・瀬戸内エリアを中心に、Ship to Ship方式によるLNG燃料供給に従事する予定です。今後、LNG燃料供給サービスを通じて、当社グループとして海運業界の低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



LNGバンカリング船「SETO AZURE」

3.活動状況

ベトナム海事大学へ機関室シミュレーターを寄贈

当社は、ベトナム海事大学（VMU）へ海事人材育成および教育環境の向上への貢献を目的として、フルミッション機関室シミュレーター（FMS）を寄贈しました。FMSは、船舶機関室の設備や運転操作を実船に近い環境で再現できる訓練装置であり、学生の実践教育や現役船員の技能向上に活用されます。

寄贈記念式典では、今後の海事人材育成に向けた連携強化について意見交換を行いました。当社は今後も次世代の海事人材育成を通じ、安全で持続可能な海運の発展に貢献してまいります。



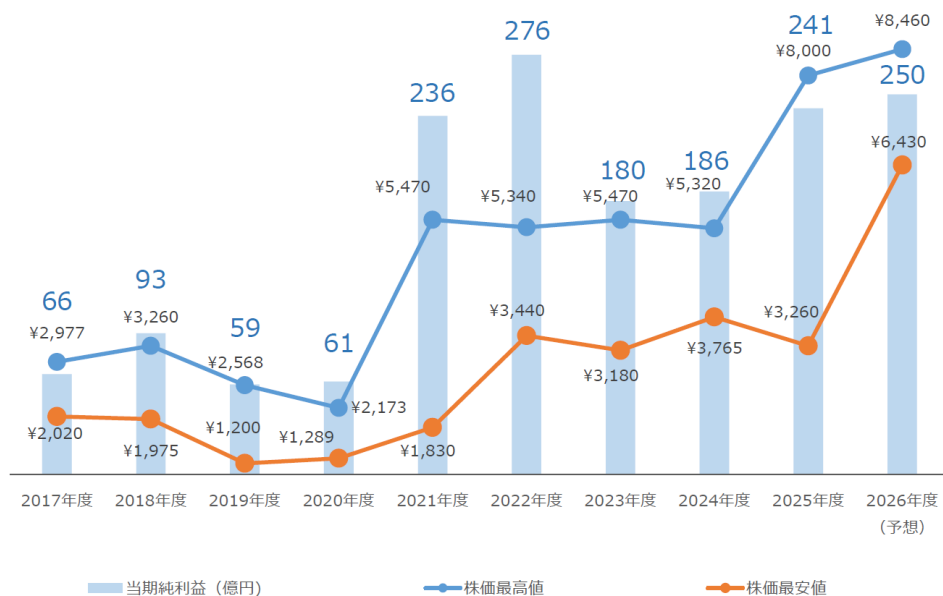
寄贈記念式典の様子

ESG投資の世界的指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に継続選定

当社はこのたび「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に4年連続で選定されました。本インデックスは、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野で評価されており、ESG（環境、社会、ガバナンス）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。構成銘柄である企業はESGに関する様々な基準を満たしているとされ、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資の運用に採用しているベンチマークの一つです。

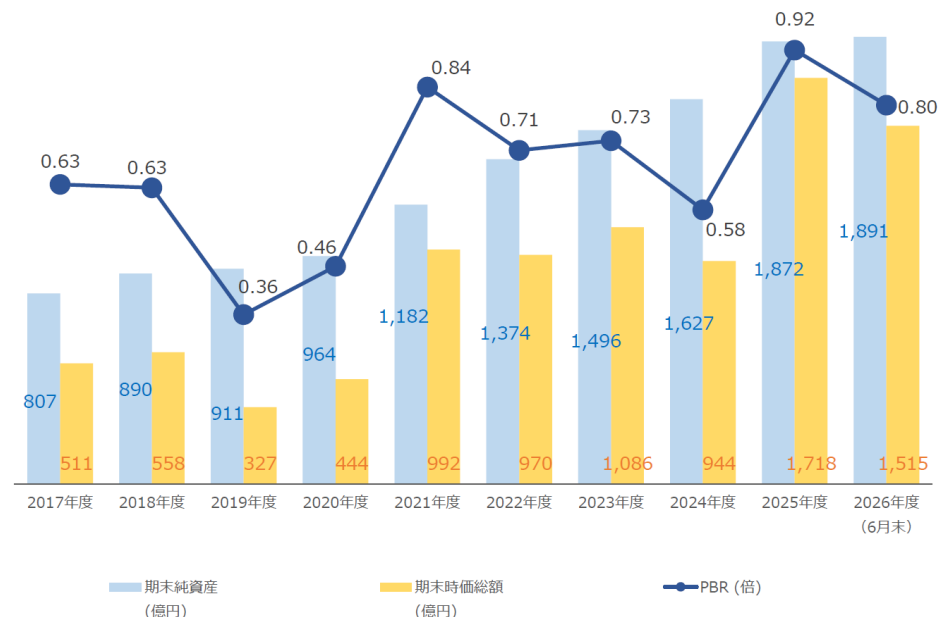
(ご参考) 財務アウトlook

当期純利益と期中株価の推移



2026年度
※当期純利益は予測値
※株価は4-6月実績

期末純資産・時価総額



NSユニテッド海運株式会社

Why

社会にとつての
存在価値

パーパス：
海上物流で、
共に世界の今をつくる責任、
未来へつなぐ責任を果たす

What

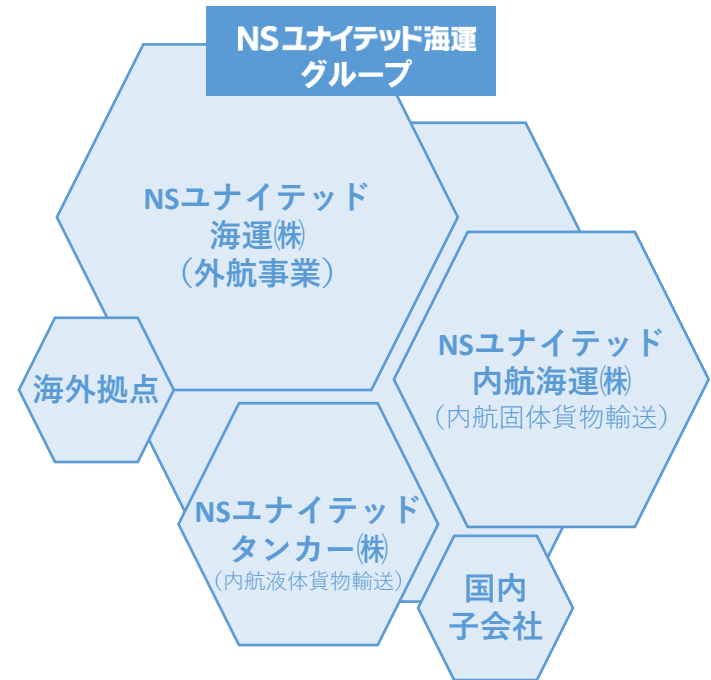
パーパス実現のために
何をするのか

ミッション：基本理念
NSユニテッド海運グループは、誠実で
良質な海上輸送サービスの提供を通じ
て社会の発展に貢献します

Where

パーパス実現のプロセスにお
いて2030年に
目指す姿

ビジョン：
クリーンでサステナブルな海上輸送におけ
る必要不可欠な存在を目指し、ステーク
ホルダーと協働して変革を続け、企業価
値の更なる向上を図ります



(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

当社ウェブサイト：[NSユニテッド海運株式会社 \(nsuship.co.jp\)](https://www.nsuship.co.jp)

<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411

